

## WELCOME TO OJAI R30

Ojai R30は、小型で軽量ながら、高い技術に裏打ちされたクラス最高のハイ・パワーエフェクターユニットです。本機はクリーンで安定した9V、12V、18Vの電源をエフェクターへ供給でき、そのデザインは軽量で拡張性に優れています。また、2ステージのネットワークを採用し、ブリ安定化出力、オプトカプラー、アイソレート回路、マルチステージ・フィルタリングによって、供給電源はエフェクターの最大ダイナミックレンジを引き出します。

### 超低ノイズ

Ojai R30のアナログ回路は、2段階の分離回路を採用しています。また、5つの出力端子は24V DC入力電源からもそれぞれが分離されており、その24V DC電源はAC入力電源からも分離されています。この方式の採用で、AC電源のノイズやグラウンド・ループによるノイズからの影響を排除します。また、デュアル・レギュレーション（2段別々の安定化回路）が採用されており、各チャンネルでは高周波域のオプト回路による出入力の分離が、出力負荷にも影響されない安定した出力を約束します。

### ワールドツアーにも対応

電源は各国によって異なるため、他の国でプレイする度に電源ユニットを用意する必要があります。しかし、Ojaiの電源入力部は100~240VACに対応しているため、世界中のどこでも使用することができます（適切なIECケーブルが必要です）。たとえ会場の電源がクリーンでなくても、クリーンで安定した電源をエフェクターに供給することができます。

### スタートガイド



### OJAI R30 の拡張性

ペダルボードが大きくなったら、24V THRU端子を使用してOjaiを複数リンク接続し、DC出力を増設することができます。

24V電源アダプター（PS-124）は最大24Wの電源がoutputできます。この容量は最大7台のOjaiへの電源供給を可能にします。低消費電流のエフェクターであれば、35台程度の電源供給が可能ですが、安定した動作のためにOjaiの接続は2~3台に止め、10~15台の低/高消費電流のエフェクター・セットアップをお勧めします。



### Ojaiのリンク方法

1. 24V電源アダプターと1台目のOjaiを接続します。
2. 付属のEIAJ-05ケーブルを1台目のOjaiの24V THRU端子に接続します。
3. EIAJ-05ケーブルのもう一方を、2台目のOjaiの24V IN端子に接続します。

### 同梱品

- Ojai本体
- 24V電源アダプター（PS-124）（エクステンションには付属しません）
- IEC AC電源ケーブル（エクステンションには付属しません）
- EIAJ-05電源ケーブル（Ojai～PS-124間用）
- ペダルケーブル（45.72cm長、5.5mm×2.1mm/L-L端子）×5本
- #4 (3/8") マウント用ネジ × 2本
- マウント用テンプレートシート

### スペック

- 本体サイズ:130mm(幅)×58mm(縦)×29mm(高)※突起部含む
- 本体重量:171g
- 電源アダプター（PS-124）サイズ:107mm(幅)×55mm(縦)×32mm(高)※突起部含む
- 電源アダプター（PS-124）重量:133g
- Ojai入力:24V DC、センター「プラス」
- Ojai出力:
  - 9V DC(500mA)、センター「マイナス」×3口
  - 9V DC(500mA) / 12V DC(375mA) / 18V DC(250mA)、センター「マイナス」×2口
- PS-124入力:100-240V AC 50/60Hz
- PS-124出力:24V DC、1000mA、最大24W、センター「プラス」

### エフェクターを接続する

#### ペダル出力:

付属の5.5mm X 2.1mmケーブルを使用して、9V仕様のエフェクターと接続します。デュアル・アイソレート設計の低ノイズ出力を実現しました。

#### 9V出力:

3系統から9V/500mA(センター「マイナス」)が、各出力から得られます。

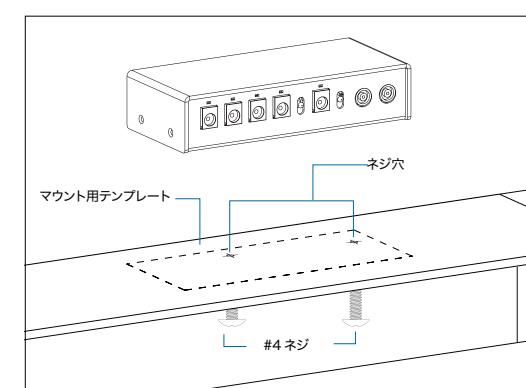
#### 9V、12V、18V切り替え出力:

2系統の出力は、9V、12V、18Vの電圧を切り替えることができます。9Vで500mA、12Vでは375mA、18Vでは250mAが最大電流容量になります。



### OJAI R30 マウント手順

ペダルボードにドリルでネジ穴を空けることで、Ojai R30をボードに直接マウントできます。同梱されているマウント用テンプレートを使用し、下記の手順に従ってネジ穴を空けてください。テンプレートは、[strymon.net/support/ojai-r30](http://strymon.net/support/ojai-r30) からもダウンロード可能です。



#### 1 取り付け位置を決めます

マウント用テンプレートを、ロゴ面を上にして取り付けたい位置に貼り付けます。

この図はボードの上面に取り付ける場合を表しています。  
ボードの底面に取り付ける場合、ボードを逆さまにして同様の方法で取り付けてください。

#### 2 ネジ穴を開ける

ドリルを使用してネジ穴を開けます。ビットは1/8" (3mm) を使用してください。

#### 3 Ojai R30を取り付け

穴に合わせてR30を設置し、ボードの裏側から同梱されているネジ(#4, 3/8")を使用して固定します。